「日々の理科」（第 4450 号） 2026, 10, 16

「秋の北極圏旅行記（最終回）」

お茶の水女子大学サイエンス＆エデュケーション研究所

田中　千尋　Chihiro Tanaka



長かった旅路も、いよいよ「ロバニエミ 80km」の標識でゴールが見えました。どうやら飛行機には間に合いそうです。



フィンランドに入ってからも、何度かトナカイに出会いました。悠然と道を横切っていきました。



ついに「ここからロバニエミ」という標識があった・・・のですが、これは「ここからロバニエミ市街地」という意味ではなく、「ここからロバニエミ・クンタ」という意味です。クンタ（kunta）とは、日本でいえば「市町村」のようなものです。この標識は「ここからロバニエミ市に入りましたよー」という感じです。スウェーデンやノルウェーでは「コミューン」といいます。



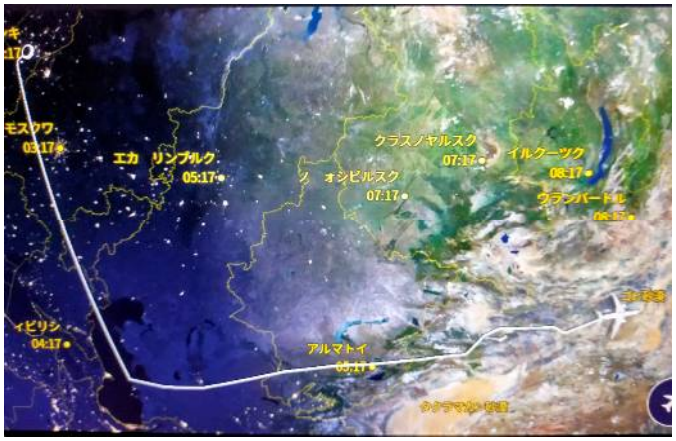
無事にロバニエミに到着。少し時間があったので、再びサンタクロース村に立ち寄って、余裕で飛行機に乗りました・・・と言いたいところですが、空港の保安検査が超厳しくて、ケッコー時間がかかりました。そのかわり、ヘルシンキ（ヴァンター）空港での乗り継ぎの保安検査はありませんでした。



ヘルシンキのヴァンター空港は、フィンランド一の国際ハブ空港です。フィンエアー（フィンランド航空）の他にも、バルティック航空、スカンジナビア航空、日本航空など、多くの国際線が乗り入れています。



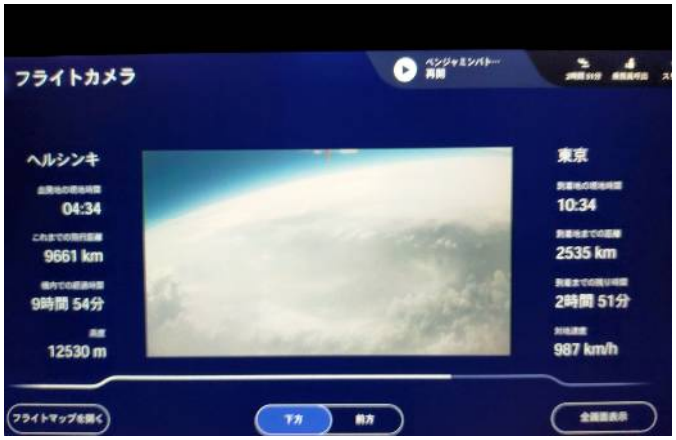
行きにも通りましたが、早朝だったので閑散としていました。帰りはどのお店も開いていて賑やかでした。



現在シベリア上空の航路は閉鎖されているので、行きは北極海回り、帰りは南回りでした。中国のゴビ砂漠の上空も通過したのは驚きました。



機窓からもゴビ砂漠が見えました。こんなところに不時着したら、周囲は砂以外に何もないでしょう。



実はヘルシンキという都市は、ヨーロッパの都市の中でも、距離的に日本から一番近いところにあります。シベリア経由だった頃は、東京→ヘルシンキは８時間ちょっと、ヘルシンキ→東京は、７時間台で到着でｋぃました。しかし北極海周りでも、南回りでも、約 13 時間かかります。座席のモニター表示でも、9 時間 54 分飛んでもまだ 2 時間 51 分もかかるのかー！と、ちょっとうんざりでした。しかし、おかげで「ベンハー」「ベンジャミンバトンの数奇な人生」「カサブランカ」の３映画を、全編鑑賞できました。



北朝鮮を「上手に」避けて、機は日本海へ。いよいよ「祖国」が見えてきました。



御前崎と遠州灘が見えて、「あ～、やっと帰れた」という気持ちと「あ～、もう着いてしまった」という気持ちが混在していました。

最後までお読みいただき、感謝いたします。

【旅行データ】

・旅行日数；１１日間／現地８泊
・旅行人数；当方を入れて４名
・移動距離；約 26,700km（航空路約 24,100km、自動車約 1,900km、鉄道約 700km）
・訪問国；フィンランド、スウェーデン、ノルウェー
・到達最北緯度；北緯 68 度 26 分（陸上）
北緯約 89 度（北極海上空）
・滞在中最低気温；－0.5℃
・オーロラ出現回数；８泊のうち５回
・トナカイ目撃回数；１０回以上
・トナカイ衝突回数；０回
・ヘラジカ目撃回数；０回
・サンタクロース目撃回数；２回
・使った現金：０（すべてカード支払い）
・食事回数；29 回＋α（うち機内食 4 回）
・飲んだポマック；約３リットル